



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、原爆のおそろしさについておしえて下さり、ありがとうございました。

最初から、最後まで私の気持ちには、「怖い」「怖い」でした。

おどろいたことが、アメリカが、「人間にとって重要な文化財をこわしてはならない」という思いで京都に落とすのを、やめたことです。

もし、広島・小倉・長崎の天候が悪かったら、中止になって、死ぬ人がなくて、歴史が変わったのかなと思いました。

太陽よりも熱い表面温度で、頭上に降りそそぐと思ったら、考えられないほど怖いです。

電話局の地下ミレにいた人は、本気で希跡ですごさるなと思いました。

私たちは戦争のおそろしさを身にしみませんが、いろんな人の話を聞いて知識を増やしたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

授業でも原爆のおそろしさを勉強しましたが、
今回の特別授業で改めて、原爆や戦争のおそろし
さを知りました。

そして、色々な事を学ぶことができました。

前半では、先生のお言葉についてのお話で、爆音
の再現や当時の写真、被害者の方々の気持ちなどを
教えていただきました。爆音の再現の所は、びっくり
してとても怖かったけれど、当時の方々を私よりも、もっと
怖い思いをしてらっしゃると思うようになってしまいました。

後半は、基礎となる知識などを教えていただきました。
その中で一番印象に残っているのは、原子爆弾
の熱さが7000℃という事です。太陽が6000℃なので、
太陽より1000℃も熱い物体が空から落ちてくるなど
考えられません。

これからの未来絶対に、このような事がおこらないように、
原子爆弾の恐ろしさを世界の方々に伝えて、もうこの世界
で、戦争などの悲惨な事がなくなるようになって
ほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

/

今日はわざわざ原爆のことを教えてくださりありがとうございます。池田 養三さんはとても運がよいのだなと思いました。原爆が投下される時の音がこわかったです。二回も振動が来ていたことを初めて知りました。それだけ原爆はおそろしい物だと思いました。原爆はたくさんの人を殺してしまっただけで、もう原爆の開発はしてほしくないです。またこのような原爆があつて無傷な人は本当に奇跡だと思っています。私は「はだしのゲン」を読んでいましたが、それより実際にお話を聞かせていただいた方が戦争のことがよく分かるなと感じました。もう日本は絶対に戦争をしてはいけないと思いました。自分たちも後の世代に戦争の悲惨さを伝えていこうと思います。今日は長い間戦争のことをたくさん教えてくださり本当にありがとうございます。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

前半は、想像をはるかに超える恐ろしさに、ただただ驚くばかり
でした。特に「焼けただれた皮膚がはがれ落ち、赤い肉が見えていた」
「もはや人間の姿ではなかった」という部分では耳をふさぎ、その場から
逃げたくなりました。また、地獄の苦しみの中にいた人々、その人々と
助けたくても助けられなかった義三さんの気持ち、死体の焼却作業の
様子を伺った時には、もう気が変になりそうなくらいの大きな衝撃を
受けました。60年前の地球上実際にこのような出来事があったなんて、
なかなか信じられませんでしたし、今でも信じたくありません。後半は、
原爆の半の太陽より高い表面温度、音速の速い衝撃波などの
具体的な説明を伺って、人間にこのような武器をつくる力があることに
驚き、恐怖を感じました。学校の授業で「第一次世界大戦後に
もう戦争はしない、と約束したのに第二次世界大戦が起こった」と習い
ました。それは、今の世界でも同じことだと思えます。だから、口先だけで
なく、本当に、もう二度と戦争を起ささない、もう二度とこのような悲劇を
くり返さないようにしなければならぬと強く思いました。私たちも、
子供だし、今の世界は平和だから...」などと言っていないで、30年後
の世界に「戦争」という単語がなくなるよう、行動しようと思えます。
先生にお話を伺った90分間は、辛くて悲しくて頭がどうにかなりそう
でしたが一生忘れることのない、貴重な時間でした。ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/15

先日、特別授業をしていただき、ありがとうございました。この授業が、私にとって一番印象的だったのは、会社のドアが開くまで待つというお話です。黒いシミだけが残るという、何も言えない悲しい姿が心にささりました。原爆投下後の灰色の町は、私達が想像する以上のひどく、残酷な物だったんだという話も思いました。エリカ、ケイが母親の名前だという事を初めて知りました。また、原爆ドームの本当の名前が広島県産業奨励館だということも初めて知りました。先生が原爆を語り出す時の音を下していた時、私も原爆を体験していないという感謝が押し寄せたのです。原爆について考える事はありがとうございました。原爆について本当のその場にいるような感覚を味わうのは初めてで、良い体験となりました。今も、海外では戦争が続いていて、苦しんでいる人がいるので、その人のために、自分ができる事を探して、実行できるようにしたいと思います。戦争がなく、世界が平和になるといいですね。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/15

二月十五日は、お忙しい中、光塩女子
学院初等科で原爆先生の特別
授業をしていただき、ありがとうございました。
一番おどろいたのは、会社が開
くのを待っていた男性が原子爆弾
でしゃんで炭になっちゃったという写真
です。原子爆弾の温度が太陽よ
りも熱い7000℃で、太陽と同じく
らいのものが地上600mにせまって
くるのはとても怖いなと思いました。
原子爆弾の近くにいた人が広島
市内の川に飛びこんでいくぐらいの
熱さが出る原子爆弾は本当に
すごいものだと思います。
もう二度と世界中のどこかの国でも
戦争というひどいことをしてほしく
ないと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

2/15

先日は原爆^{じゅこう} についてのお話を下さりありがとうございました。

お話を聞いていて改めて戦争の悲惨やくどさがわかりました。

私は、元々戦争はあまり深く学習しないものだと思っていたので、

原爆先生の授業で深く学べて、いいきっかけになりました。

私は広島原子爆弾が落ちる時の音がおどろきました。

最初は静かになってそこからどんどん原爆が近づいてくる感じが

して、次のレインカンドカーンとってばく発音が鳴り戦争の時は

本当に怖かったんだと思いました。また、私が一番覚えているのが、

会社が閉くのをまわっていて、原爆の熱線や、衝撃波をまともに

浴びて、いなくなってしまった人の話です。その人のかけは階

段に残っていました。それ以外の物は何も残ってないという

ことが、原爆のおそろしさを私は感じました。

私ははだしの元を讀んだことがありますが、本当だと知って

おどろきました。それまでの私はおおけさにあますぎだと思

っていました。

私のそう祖父がはくだんを作っていたので、すごくおそろ

しいものだったのだと思いました。

2時間という長時間 本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

今日は特別授業をしていただきまして、ありがとうございます。今では考えられないくらい、このけがのむじまは私の少しの時間のニトあったのに、目が切れているのに痛くも感じないというニトは、すごく強く一瞬の出来事だったのだと思います。それに雨も混じった原爆の雨が降り、その雨を浴びるだけで原爆と同じニトになってしまったことは、原爆というものは本当にたまじりニトだと思っています。それに包帯を顔中に巻いていても目立たないのは、もっと思いいけがをしている人がたくさんいたんだと思います。私はその時のニトは、またおかげなリニトが受けられども、こういうニトは繰り返してはならないと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

本日はお忙しい中、授業をしてくださり、ありがとうございます。ごさ"いました。とかい頃父に原爆について聞いたことがありますか。ここまで想像を絶するものた"とは思っていませんでした。爆弾はとても熱いのだろう、と思っ
てはいましたが、7000℃という予想をはるかにこえる温度であ、たためとてもおどろきました。

私の祖父は一昨年ほど前に81歳でせくなりました。当時の私は戦争について99%の知識は持、
ていました。ですが祖父が亡くなるまで戦争について聞いたりすることはありませんでした。今考えるとなぜ戦争について聞かなかたのか、と悔やまれます。原爆によ、
てせくな、た人の影がコンクリートの階段にしみとなっ、
ている写真を見た時はおどろき、またなんとも言えない感情が湧いてきました。お話しの中で8月9日午前11時頃、
第2の原子爆弾が落とされるといううわさが流れた、とあ、たのですが、そのうわさの出所はどこなのて"ほうか？ 私達は戦争を肌などで体験をしたわけでは
ありませんが、戦争の悲惨さ、恐しさを後の世に事実をまげることなく伝えていけたらいいな、と思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

これまでに、原爆ドームも原爆資料館などに行ったことはありません。なので、今回分かったことがあります。自分が想像しているよりもひどかったこと、原子爆弾は太陽よりもすごかったことです。

原子爆弾は、太陽の表面温度の6000℃を上回り7000℃になり、一瞬で周りのものを蒸発することを知り、おどろきました。原子爆弾を見て、体感した方のお話は、普段聞けることではないので、いい体験ができましたと思います。

日本には非核三原則というものがありますか、これはも、とものことだと思っています。この三原則があることで、今平和なのかもしれません。

爆発される候補の中に京都があったことにびっくりしました。同時に爆破されずにすんだことがよかったですと思います。京都は、有名な場所も多く、もしも爆破されていたら、今のように観光地になっていたかと思います。

一回でもいいので、原爆ドームに行き、みたいです。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

2/15

終戦から70年以上。体験者より、何も知らない人の方が多い今、貴重なお話をありがとうございました。

学校などで教わる原爆と、実体験者のお話では、かなりちがいました。学校やテレビでは、「へ～。そうなんだ。」と思うくらいしかありませんでしたが、今日のお話は、感情を越えてなにも言えません。それほどひどいものだ、たことにおどろき悲しくなりました。

最近では、オバマ前大統領がヒロシマをおとすれ、平和についてお話くださいました。去年はローマ教皇・フランシスコ教皇様によって、「焼き場に立つ少年」のカードを配布し、裏に「戦争がもたらすもの」というメッセージをそえてくださいました。世界中が少しづつではありますが、平和について考えるようになりしました。しかし、私たちのような子供は何もしなくてよい、ではなく、その変えられない過去をし、かりと受けとめ、平和が長く続くように努力して行こうと思います。

このお話を元に、私も世界と平和を築きたいです。原爆先生、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

本日は、私たち6年生のために特別な授業をしてくださりありがとうございます。ございませう。私がこの戦争で知っていたことは広島と長崎に原爆が落とされ、広島に原爆ドームにも直撃してあったことです。しかし、その他にも原爆が原因で、原爆雲という自然げん雲が起きたことなど色々なことを学べて良かったです。また、池田先生とお父様が行かれた原爆ドームに行ってみたくなりました。京都という日本の名所が一番の候補だったにも関わらず、『日本の名所』だから原爆を落とさなかった方はとても親切だなと思いました。私の祖父母はこの時代に生きていなかった。私にとっては初めての戦争の体験談でした。これからも、たくさんの学校でこの貴重なお話をして下さい！！応援しています。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

戦争が終わってから時間がたった今、戦争や原爆がひどくおそろしいものとは知っています。日常の中にそれを考えさせる機会はありません。ですから、今回、広島^{ヒロシマ}の原爆の事をきけて良かったです。実際に見た人が感じたおそろしさ、つらさ、ひどさを自分が理解することは難しいことです。それでも今回知ったことを忘れないでいたい。日本はもう戦争は終わったけれど、まだ世界には戦争をしている国があります。その国が日本の様にならないように祈りたいです。私たちが大人になって60歳ぐらいになるころは戦争のことが忘れられているのではないかと思います。その時は私たちが若い人たちに伝えるべまだと思いました。世界に戦争がなくなると二度と広島や長崎みたいなことがおこらないといいです。



名前と裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



今日は、私たち光塩女子学院初等科
六年生に原子爆弾のお話をしてくだ
さりありがとうございます。私は、
今まで原子爆弾が広島と長崎に
落ちたことを歴史の一つとしか
らえていながら、たのですが、今回の
お話を聞いたことで、原子爆弾の恐
ろしさ、怖さを実感しました。当時、体
験した人の思いは私たちには考えら
れないほどのものだろうと思いました。
また、皮が剥がたれて、肉が見えるの
は同じ人間とは思えないことで、その
つらさは見た人もなった人も今でも残る
化すも大きいことなのだとわかりました。
私は広島に行ったことはありませんが、
いつか行く機会があれば原爆資料
館に行き、戦争の悲しさを少しで
も知り、心にきざんでいきたいと思
いました。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

2/15

私はもともと戦争の話や原火暴の話などに興味があり、戦争の物語や資料などをよく読んだり見たりしていましたが特別授業を受講したことにより、自分が知らなかったことを知ることができました。それと、はじめから原火暴はむごいことだと自覚はしていましたが写真や話などを見聞きして、自分の予想以上にむごいものであったということもわかりました。

今回私が初めて知ったこととして、一つは原子爆弾にはパラシュートがついていなかったこと。もう一つは、爆心地のすぐ近くのところで被爆して助かった人がいたということです。

ほかにも初めて知ったことはいろいろありましたが大きいに書くとすればはこの二つです。

貴重なお話を90分間ほどおこなってくださり、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/15

今日は原爆などについてお話ししてくださりありがとうございました。私の中で原爆といえは原爆ドームという印象がありました。今日戦争のいろいろなことを学び命の大切さがよく分かりました。まず8時15分。本当にちよとしたもので命が助かるということがあるんだなと思いました。私がおどろいたことは、原子爆弾投下の候補の都市があったということです。小倉や京都にもしかしたら原子爆弾が落ちていたかもしれないなんて知りませんでした。また投下都市の条件というのがあるということにもおどろきました。11kmで町をはかっているなんて、原子爆弾は本当におそろしいと思いました。広島県産業奨励館が後の原爆ドームだということもはじめて知りました。1番心に残ったことは義三さんが原爆資料館の被爆者の展示物を見たときの「こんなやさしいのではありません」と言ったことです。私たちはこの写真でもおそろしくて目をそむけてしまいますが、本物はもっとおそろしかつたんだなとびっくりしました。義三さんが若いときに助けたお姉さんが生きてよかったと思いました。そういう親切な行動が1人の命を助けたということに感動しました。こんなことを2度と起こさないために私たちがもっと



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は原爆についてお話して下さりありがとうございました。
私は原爆について少しだけ聞いたことがあるだけで詳しいことは知らなかつたし、怖さがあり調べたりしていませんでした。
でもこの時いた人は怖いというものを超える恐怖があったと思います。
このお話の中で一番驚いたのは爆発した時に出来る球体の内部の温度が100万℃ということ、外部でも7000℃で太陽より熱いということ。100℃の火は見たことありますしどのくらい熱いのかも知っています。ですが100万℃と聞くと100℃なんか全然熱くないなと思ってしまいました。絶対100万℃と聞いてあのくらいかと思う人はいないと思います。もう一つ驚いたのは原子爆弾を落とす候補になった都市のことです。初めは京都にしようといっていたが人間にとって重要な文化財があるのでやめたということ。やっぱり昔の物はどんな状況たとしても大事なんだと思いました。私が思ったのは、原子爆弾を落としてやろうと思う相手なのだからそこもようやうなくやるのではないかということです。今回のお話で学んだことは原子爆弾の威力、怖さ、仲間を失う悲しみです。たまたま助かった人もいたようですが周りの仲間が亡くなってしまうので自分が生きている喜びはひとかけらもなく、自分だけ生きていて申し訳ないと思う心が大きいと思いはげ



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

1

この間は授業をしていただきありがとうございます。最初は何をやるかわからなかったのですが、原爆がとれほどこわいが改めて実感しました。11にとびこんで、11がしょう発したことは知っていました。かげだけがこのこと消えてしまうことはとてもこわかったです。知らないことがたくさんありました。私のひいおじいちゃんも軍に入っていました。でも、糸田かいことは知りませんでした。私のひいおじいちゃんも同じことをしていたのかなと思います。原爆資料館で現わせないほどひどいしょうきょうだったということは、行った人しかわからないので、やはり行った人にきくのがいちばんいいなと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

2 / 15

私は今まで原子爆弾についてあまりくわしく知らなくて、悲さんな出来事であったとは知っていたものの、被爆された方の様子を具体的に知りませんでした。今日の話聞いて、具体的な想像はできましたが、当時の状きょうは私が想像したものよりももっとひどいものだったのだろうと思い、胸が痛みました。特に胸が痛んだのは、被爆された方の見た目や様子です。皮ふがはがれて赤い肉が見えていたり、顔が赤くはれていたり、想像できないほどひどい状態で、それを生で見た義三さんの恐怖と苦しさ、助けることのできないもどかしさが、よく伝わってきました。私は原爆資料館に行ったことがないのですが、義三さんの「きれいすぎる。」という一言のとおり、事実よりソフトになっていることが想像できました。私達が原爆の様子を生で体験することはできませんが、少しでも原爆について知り、後世に伝え、この悲さんな出来事が忘れ去られ、同じことをくり返さないようにしたいです。

今日はどうもありがとうございました。

本当に貴重な経験でした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

本日は私達に原爆の本当のこわさや、原爆についてお話ししてくださり、ありがとうございました。先生のお父様の義三さんは、幸いにも助かったけれど、被爆してしまった方の事を考えると、心が痛くなります。また、原爆が落ちた時にすぐ亡くなってしまおう方や、生き残っていても放射能の影響で、長い月日が経ってから亡くなってしまおう方がいる事を知り、原爆のこわさを改めて感じました。

原子爆弾の温度におどろきました。あつくて、たえきれなくて、川にとびこんだ人もいた事におどろき、こわくなってしまいました。原爆が落ちた時に一しゅんで消えて、あとにはかけたけが残っているという事は、相当温度が高くて、溶ける速度が速かったのだと思います。

これからの時代で、原爆が落とされる事のないように願っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/15

戦争の話はよく祖母からもさせられます。
全身にやけどを負って、熱くて川に飛びこんでそのまま死んでしまった人がたくさんいると聞きました。空が真っ赤に染まって人々が泣きさけぶ声を今でも覚えているそうです。原爆先生のお話をお聞きして、戦争は私が思っていた以上に苦しい物だとわかりました。ふつうの暮らしをしていたら、急に原爆が落とされ、その時のおどろきと悲しみはひどい物だと思います。そして、地面にあった家など、様々な物が原爆雲によって成層けんのぎりぎりの場所まで吹き飛ばされるなんて、私には想像できません。皮膚がただれてきずだらけになっている人たちは人間ではないように見えてくると先生がおっしゃっていました。私はそのような人たちは死んでしまった方が楽だったのでほっとかと思いましたが、しかし、死んでしまった方がよかったです。本当にかわいそうなことだと思います。そして、私達が大人になってもその子ども達や次の世代の人達にも悲しいけれど戦争の話を受けついでいかなければならないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

/

私は広島原爆についてくわしく知りませんでした。今回の原爆先生の特別授業を通して、よく知ることができたと思います。「衝撃波や熱線を受ける」ということは、とても恐ろしいことだと思います。そして、原爆ドームの地下のトイレの中で生きのびた人もいるということはきせきで、そのきせきで少しでも多くの方が生きのびることができて良かったです。もし、自分の600m上で衝撃波と熱線をあびたとしたら、ということを考えるとすごく怖いです。ですが、本当に衝撃波と熱線をあびた人たちは、私の想像した恐ろしさをはるかにこえて、恐ろしいんだと思います。今回、この授業を受けて、自分が戦争がない平和な恵まれた環境に生まれてきたことに感謝して、今もなお戦争を終えた後もまだ、苦しんでいる人のことを考えられるようにしたいと思いました。広島市の人口は約35万で、被爆者数は約24万人、死者数は約14万人ということだから、死亡率は40%、5人に2人が原子爆弾によって死んだということになるわけです。この現実はとても恐ろしいし、これからの私の人生の中でも戦争があつたらすごく怖いです。だから、これからは、戦争のない平和な国をずっと築いてほしいです。「平和」が一番大切なことです。だから私も、日常生活の中で、ゆずりやって平和を築いていけるような人になりたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は、原爆先生の特別授業をしていただき、
ありがとうございました。特別授業を受けて、
広島の子爆死はどれだけ悲惨だったのかが
わかりました。

一番印象に残っているのは、兵隊さん達が人を助け
ようと手をさしのべてもとけてきてる皮がずるりと
はがれてしまい助けられなかった人達もたくさんい
たということです。その時、その場所にいた人
達は恐怖に怯えていたと思います。一度の原爆
たくさんの命が奪われてしまうことに、戦争は
もう二度とやってはいけないことだと改めて
感じました。

また、広島に投下された原爆の「リトルボーイ」の重さ
が4セ(トン)もあることにも驚きました。

でも、候補になった都市に、新潟や京都があったこ
とが意外でしたが、広島になせ原爆を落としたの
かが不思議に思いました。原爆の知らないこと
をたくさん知ることが出来て良かったです。
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

先日は、原爆についてたくさんのお話を教えてくださり、本当にありがとうございました。特別授業を受け、「7000℃の少年」というタイトルの意味が分かりました。直径200mの球のようなものが、7000℃で落ちて来るといふことは、想像しきれません。太陽の表面温度が6000℃なので、その太陽のプラス1000℃。このような熱さで生きるという苦しさが原爆のおそろしさだということを知りました。そして、原爆は、おそろしく、つらく、苦しく、大変なものだということを知りました。原爆で亡くなった方、病気で今も苦しんでいる方がいるということを知り、戦争そして原爆は絶対にやめてはいけないということを知りました。また、被災された方々の苦しさは、本当につらいものだと知り、被災された方が早く回復できるように祈るとともに、戦争についてより深く学び、戦争のおそろしさを知り、もう二度と繰り返してはいけないことだ、ということを知り、いくことが大切だと思いました。そして、特別授業を受け、知り、学んだことを忘れず、今後生きていきたいと思っております。貴重な、忘れられないお話でした。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、原爆先生の授業をしていただきありがとうございます。
原爆の怖さや悲しさは知っていました。けれど、実際体験した人の話は、その時の様子が鮮明にわかりました。11,700人のうちにこの世から去った人が2万人もいると聞いて、たった1秒で何万人もの人の命をうばってしまう原爆の恐ろしさを実際には体験していませんが、話を聞いて私たちがこれから伝えていかなければいけないと思いました。
また、二度とこのような事がおこらないようにという事も伝えていかなければならないと思いました。池田義三さんが原爆資料館に展示してある、放射線をあびた人を見て「きれいすぎる」と言ったというのが心に残りました。やはり、戦争の映画やドラマなどのけがは本当のものよりきれいなものになっているのだと思いました。義三さんの証言で放射線をあびた人の様子を、全身に火傷を負い、皮膚がただれおち、あぶらがたれ引き上げようとすると皮膚が取れ赤い肉が見えたと言っていました。この言葉だけでも、目もあてられないような悲しいな傷、状態ということがわかりますが、実際見ると、さらにすごい傷な人だと思いました。でも、実際の傷を再現した方が戦争の悲しさは伝えられると思います。この話を聞いて、戦争、原爆の恐ろしさが改めてわかりました。ありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は、光塩にいらしていただき、ありがとうございます。

原子爆弾がこんなにも恐しく、被害が大きいものだ、ということに驚くと同時に、罪のない人々の命をうばってまで戦争をする意味が本当に分かりません。原子爆弾の爆激から運良くながれられても、多くの人々が苦しみ、助けを求めているのを見ていて、本当に苦しかったと思います。戦争から時間が過ぎていき、人々が味わった地獄のような苦しみが忘れられていってしまったら、戦争はしてはいけない、という意識が薄れていってしまうのではないかと先生の話聞いた時、感じました。しかし、その時の苦しさはその時感じた人にしか分からぬものだから、私たちにはそのことを言葉で学ぶことしかできないため、それをより鮮明に次の世代へ伝えていくことが、大切なのではないかと、思います。実際にこの地球上で起こった、こんなにも残酷なできごとは、もう二度と絶対に起こしてはいけないし、そんなことが起こるきっかけを作ること、いけない、と先生の話をおかかて、学びました。このできごとは、世界中へ発信できたらいいな、と思います。



名前と顔面を記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



/

原爆について色々教えて下さりありがとうございました。太陽が6000℃で、原爆の温度が7000℃で、地表の温度が3000℃で人が一しゅんにして蒸発してしまうということ、水を貯めておく所から人が出てきたという所におどろきました。人が一しゅんで蒸発してしまうということはとてもおそろしかったです。今の時代は戦争は考えられないことですが、戦争を体験した人は、とても辛くて大変だったと思いました。義三さんは、十七才で戦争を体験して、どのような気持ちだったのか知りたいです。

最後の資料館の人形でも、実際よりきれいだったという言葉に戦争のおそろしさを感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は私たちのために授業をしてくださってありがとうございました。実際、戦争を体験した方のご家族のお話をきくことができてとても勉強になりました。

今回の話の主な人物である池田義三さんは21歳からやる徴兵になったが、その当時まだ17歳だったためとても勇気のいることだと思いました。また、原子爆弾が投下された広島と長崎の当時の状況は、命はあるけど全身に大やけどをしてしまい体の一部がとても無ざんな状態になって助けを求める人いっぱいでした。一人や二人だけではなく、たくさんの方がこのような形で、さらに命を落とす人もいてとてもつらかったと思いました。お話をきいた中で一番おどろいたのは、原子爆弾を投下する都市の候補です。広島、小倉、長崎、横浜、新潟、京都の六つが候補で、その中で一番強くあされたのは「京都」です。私は広島、小倉、長崎は知っていましたが、京都は想定外でした。京都が強くあされた理由はほかの結果がけんしょうできるからです。なぜ除外されたかという京都にはたくさんの重要文化財が古くからあり、アメリカの専門家が建物をこわさないようようにといて除外されました。原爆について語りつがれていくのはいいことだと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

この間は原爆先生の特別授業をしていただき
ありがとうございました。とても貴重な体験でした。
私が知らなかったことがわかってとてもうれしか
たです。原爆が落ちてきた時はすごく大変だという
ことを初めて実感しました。また義三さんがこのよう
な体験をして日記に残しておいた結果、道徳教
科がこのような授業をして全国の小学生などが
原爆についていろいろとわかるのだなと
思いました。原爆は太陽の表面温度よりも
温度が熱いということや本当は水をためて
おく場所の中に人が入っていたこと、あまりにも
高い温度により人が1秒間に死んでしまった
ということなどもおどろきました。これからモ
キカイがあればよろしくお願ひします。
私はまたもう一度この話を聞いてまた
新しいなことを学びたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆が広島と長崎に落とされた、という事実は知っていましたが、被爆者たちの姿・被爆地の様子や後処理、原爆の威力などはくわしく、具体的に聞いたことがなかったのも、とても興味深かったです。特に被爆者たちの姿が原爆資料館に展示されていたのは知っていたのですが、それよりも悲惨だった、あれではキレイすぎる、ということにとてもおどろきました。経験者でなければわからず、忘れたくても忘れられないほどの状態を想像してもわからず、なにより想像したら、とても胸が痛くなりました。また、原子爆弾の威力を科学的に説明していただいたのが、興味深かったです。とにかく、ものすごかったということは、よくテレビなどで言っているのを聞いていたのですが、太陽が上から落ちてきて爆発すると考えたら、「恐ろしい」という言葉では足りなかったです。また、放射線による被害があった、ということは聞いたことがあったのですが、「衝撃波」というのは初めて聴きました。熱や放射線だけでなく、この衝撃波がより被害を拡大させたのではなからうかと私は思います。

原爆が投下されたことによる被害は、私たちにわかりようのない苦しさや悲しさ、また助けることができない悔しさなど、あってはならないことです。2度と巡り返してはならないと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

先日は特別授業を受けさせていただき、ありがとうございました。一つの歴史程度に思っていた原爆を、より深いものとしてとらえられるようになりました。実際に話を聞いていて、原爆が落ちてきたときに、生き残るためにできることはほとんどないんだな、と感じました。

爆心地から150mしか離れていないところで生き残った方も、運良く電話局の地下にいただけで、何か少しの用事があっただけで簡単に命を落としてしまうかもしれなかった...そんなことが今の日本にあったなんて

おどろきです。今回の授業でわかりやすく、心に残ったのは原爆の表面温度は太陽の表面温度を上回る、ということですね。地球のこの暖かさは太陽から来ている

のに、それよりも熱いものが日本の広島の上で爆発したなんて考えられません。テレビで「すぐに人が消えて影だけが残る」という話は見たことがありましたが、

詳しく、どこういう理由でそうなったのかわかると、より

頭の中に鮮明に残ります。私が生きている間だけでなく、これからの日本に、戦争や原子爆弾が落とされるようなことは絶対に起きないでほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、原爆のことについて色々なことを
教えてくださいありがとうございます。

私は、あまり原爆について知らなかったの
で今日、原爆のさまざまなことを知ることが
できてよかったです。

話を聞き、原爆によりなくなった人々を自分の
体に乗せて運んでいくのはすごい勇気が必要だ
なと思いました。自分だったら、絶対にこわく
なってしまうと思います。

そして、爆弾の表面温度・中心の温度が太陽
の表面温度の6000℃より熱いのはすごいな
とびっくりしました。

私は、まだ原爆資料館に行ったことがないので、
今度行ってみたいなと思いました。

また、もう二度とこのような原爆などがおき
ないといいです。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/15

今日は貴重なお時間をありがとうございました。
私は正直、あまり原爆のことについて知りませんでした。けれど、学校にある「はだしのげん」を読みましたが、原爆のことに対して半信半疑な状態でした。だから今日、原爆のつらさ、大変さ、苦しさが本当によく分かりました。

先生が最後の方におっしゃっていた、「私の父と広島原爆の記念館で、女の人の人形を見た時に『きれい...』と父がホッリと言った」、その「きれい」は、自分(義三郎)が実際に見た、原爆が落ちた後の人間の顔と全然ちがう、ということだと思います。私は戦争を体験をしていないので、どのくらい熱かったのか、被害者の体の見た目などはわかりません。

もう、本当に戦争は起きないでほしいです。戦争の一番のこわさは、一生ずつとバの中に「きず」が残ったままになることだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆が怖いとは知っていましたが、
どう怖いのかなんというとは、一回も
考えたことがありませんでした。

原爆の威力は、熱線・衝撃波・放射
能にあることや、原爆が落とされたとい
くようになるかというとはまったく知りま
せんでした。とても印象に残りました。
真夏に、太陽より高い温度の物が落ちて
くる、そんなこと今ではありえないけれ
ど、実際にあったんだと思うと、いた
たま水ないです。

私も原爆ドームの資料館に行って、怖い
思いをしたのに、「あんな生易い物ではない」と
言われると、想像ができません。

絶対に人の命を簡単に奪ってはならない
という思いが強くなりました。

本日はお話をしてくださりありがとう
ございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、お話をしてくださり、ありがとうございます。
私は戦争のことをあまり知らず、知っておきたいと思っ
ています。ですが、戦争から75年ということで体験者も
高齢となり、亡くなった方もたくさんおられるので語り
継ぐ人がいなくなると行動もおこせないままソクソクして
います。六年生のオープンスペースにあるマンガには、とても
戦争ものが多く、その中でも「はだしのゲン」は原爆のこと
について書かれている本です。「はだしのゲン」にも、被爆した
人のヒツがたれさがり、こうではななめ前方におろし
ているシーンがありますが、それが生々しく、話を
聞いているときにも、何度も思い出しました。
そして、とても「すばい!」と思ったのは、先生の父親の
義三さんが、1945年8月6日の午前8時頃に、トラックが
来なかったこと、休んでいたとき、広島方面にドラム缶が
積んであったこと、そしてそのドラム缶に重油が満たさ
れていたこと、(そのトラックも、ちょうどかげになった時に
原爆がきたこと)という幸運に恵まれていたということです。
失礼ですが、そのドラム缶が空だっただけで、原爆先生の授業
がたいと思うと、本当に戦争は怖いです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

始まるときに「7000歳の少年」と言われたとき、私の頭の中は「？」でいっぱいでした。最後には理解できたので良かったです。先生のお父様、義三さんは、17才で入隊したと聞き、「わかいな」と思いました。原爆のしるしを受けたと聞いて、おどろきました。ドラム缶やトラッキが来るのがおそか。たことなど、幸運が重なり被爆をしなかつたことに神様の感謝します。先生の原爆が落ちたときの音声は、私も周りも「ビクッ」としました。きっと一生に一度のことなので、頭に焼きつけておきたいです。私の友達のおばあちゃんが小倉に住んでいて、原爆が落ちてこなくて良かったと言っていたと聞きました。落ちてこなくて良かっただけでなく、無条件に亡くなった方にお祈りをしなくてははいけないと思いました。話の中で出てきた「リトルボーイ」を乗せたB29は、親切心のかけらもなく、人間ではないなと思いました。また、原爆資料館の人間が溶けてしまっている(?)像の前で義三さんが「きれいすぎる」と言ったとき、くやしさが伝わったなと思いました。貴重なお話をありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/15

今回は、原爆について教えていただきありがとうございます。私が考えていた原爆の2倍おそろしからたです。特に、太陽と同じくらいの熱が東京スカイツリーほどの高さに近づいていたなんて、考えただけでおそろしいです。しかも、その熱線を真上から受けた人がいる、とてもおそろしい世の中だなと思いました。鉄をとかす温度が1500°なのに、7000°の温度が近づいたなんて、もし私があそこにいるらう、いっしょにしていなくて、いなくなっていたことだと思います。その中で生き残った人は、とても運がいい人だなと思いました。それに義三さんも24年間ひどい下りになやまされたと言っていて、原爆が残す物というのは私達にとっても一番印象深い物だと思います。



名前が裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して



今回は特別授業をしていただきありがとうございます。また、私はこの授業の前に「はだしのけん」というマンガを読みました。うじおしのことやはだかするとはかれおろる場面が"ありました。しかし、今まで聞いてみるととてもぞわぞわしました。

一番心に残った言葉は「きれいにする...」です。原爆資料館で展示してあるひばく者の人形を見たときに義三さんが言った言葉です。

やはり、経験者にとってほど"遠い人形だったと思います。私にとってすごくおそろしかったのに、現実はずっと生々しかったと思います。

また、原子はくた"んが太陽よりも熱いということにとてもおどろきました。あらためてけんばくのたいへんさを実感しました。ありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話をきいて、予想していたより被害が大きいことを知り、おどろきました。原爆が落とされたのは広島や長崎ですが、候補に京都が入っていると全く知りませんでした。原子爆弾を落としたアメリカは「京都は古い都で重要な文化財」という理由で落とす場所をこくりよしたようです。日本のことを思って京都以外を候補にしてくれたのは、よいと思いますが、自分の国以外でしかも自分のために原子爆弾の力をためすのはとてもよくないことだと思います。爆心地の真上でばく発した時、太陽よりも近く、太陽よりも温度が高く、鉄も溶け、建物の中は燃えつき、人々は炭のかたまりしか残らないとき、原爆のおそろしさを実感しました。雲がキノコの形になる理由もくわしく説明していただき、よく理解できました。町のすみずみまで焼けてしまうなんて、おそろしくてとても考えられないです。原爆によって家、ふるさと、形見、大切なものや家族までも失った人が大勢いると考えると、胸がはりさけそうです。もし自分がそうなってしまったらと考えると、想像でもないくらい悲しくなってきます。私は実際に体験をしていないので分かりませんが、亡くなった方々はみな、「熱い!!」と思う間もなく亡くなってしまったと思います。

原爆は、人の想像をはるかに越えておそろしい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾のおそろさ分かりました。

まんかなどでは川に被爆者が飛びこみ、体がひっついておぼれてしまうシーンを見たことありますが、本当はそんな間もなく水が蒸発してしまうのかなと思いました。

池田義三さんは奇跡が重なって助かったと思います。

助かっても原爆症でせくなされることもあることがおそろしいです。

けれど、この世界に戦争がなかったら、1週間早く戦争を終わらせていけば、たくさんの方が助かったのと思います。

しかし、戦争の中に人の心があたことにおどろきました。

京都に原子爆弾を投下すると被害は大きくても、

重要な文化財がたくさんあるからという理由で、こうほから外したことです。

広島原爆資料館や原爆ドームに行ってみたくなりました。

姉を助けるために一生懸命だった男の子の生きろかかすかいです。

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



2/15

今日は、お忙しい中、私たちのために授業として下さりありがとうございます。
ございます。

私は、怖い話が苦手なので「明日は原爆先生がある」と聞いて、休んでしまおうと思っていましたが、受講すると、「怖い」と思う以上の発見があり次の世代へ学んだことを伝えていこうと思います。

特に印象に残ったことは、原爆の熱です。こんな太陽より熱いものを作る技術があるなら、国の発展に力をつくすべきだと思います。

原爆先生は、話し方、声のトーン、抑揚のつけ方などがお上手で、本当に原爆先生のお父様になった様な気分で受講することができてよかったです。

今は、原爆について知る機会が
あつない人がお友達にも沢山いるので、
今日学んだことをお友達にも教えて
あげたいと思います。

今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日の授業を聞き、しみじみと感じたことが2つあります。

1つ目は「原爆」は怖いなということです。私は今まで原爆に関する本や番組を観るたび怖い、と思っていましたがそれはうわべだけで今日、本当の「原爆の怖さ」を知った気がします。それと同時にこの原爆の話を皆が聞きこの原爆の怖さというものを皆が知り原爆を中心とした戦争を止めた方がいい、ということを知ってほしいな、と思いました。

2つ目は、私は原爆を中心とした広島が長崎のことを全然知らなかったな、と思いました。被爆者のこと、ひどい痛みでなげき苦しむ人々のことを今日学んだので今日のことを生かし家族や周りの人々に伝えていきたいと思いました。そして家族で話し合い、私たちには何かできるのかを考えたいな、と思いました。

また、この授業を受けて学んだことがいくつかあります。

1つは原爆をうけた被爆者がどのようになってしまうのか、です。ケガをすることは分かっていたが、差し伸べた手をつかんだら、その手が取れてしまうほどの状態だとは思いませんでした。

2つ目は原爆の熱さ、です。直径200mもあること、太陽よりも熱い7000℃で、中心が100万℃もあること、中でも一番おどろいたのは、階段にいた人がいっしょんにして黒いシミとして残ったことです。このことにより、原爆はとても怖いな、と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/15

私の祖父も被爆者ですが、当時のことをそこまで話してもらったことがありませんでした。なので、アメリカがすごい技術を持っていたことや爆弾の中心温度が100万°Cなので太陽よりも高い温度だということ、原子爆弾を投下する場所のことなど、知らないことがたくさんありました。その中でも特に私が心に残ったことは3つあります。1つは、エノラ・ゲイについてです。エノラ・ゲイがチベット大佐のお母さんの名であり、爆弾をたくさんつめることができるのはとてもおそろしい事だと思いました。2つ目は、原爆雲についてです。原爆雲が成層けんのすごい近くまであり、そこが平らになっているのは、見たことがないので想像が付きませんが本当にキノコのように思っています。3つ目は、原爆資料館の像を見た時、池田義三さんが、「こんなやさしくない」ということを言っていて、この写真でも十分皮肉がとけて垂れていておそろしいのに、本物はもっとざんこくだという事にびっくりしました。原爆を体験した人や話すことができる人は、だんだん減っているので、今日話してもらったことを頭に入れておき、日本人が忘れることのないようにしていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島と長崎に落とされた原子爆弾は、
熱線、衝撃波、放射線などで、人々を
被爆させ、建物を破かいしたという現実
を知ってとてもびくりし、とてもこわくなり
ました。

原子爆弾が投下された時に、重油のたくさん
入ったアルミかんのかけにいたり、トラックが采
るのがおそかったりして、助かったのは、とても
きせきたと思います。

地上から600mもの所に、直径200mもの
球体が、一気に、空気をぼうぼうさせていっしょん
のうちに真空にさせ、そこから、大きな上昇
気流を起こしてしまふなんて爆心直下
にいた人はすごくきょうふ心にあおられ
たと思います。それを考えた人は、戦争に勝つ
ことしか頭になくて、その後の世界のことには
気にしなかつたのかなと思いました。

戦争をすることはとても悲しいことだから絶対
にしてはいけないことだと改めて実感しました



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は原爆先生の特別授業をして下さり、ありがとうございました。

原爆は「すごくおそろしい爆たん」ということは知っていたけれど、そこまで深く知る機会が今まで無かったのとて、夕メになりました。私は「皮ふかはがれたりした人もいた」などを聞いてすごくおどろきました。想像するだけでいたそうでゾッとしました。また、原爆の落とし方についても知ることができました。原爆が太陽よりもひょうめん温度が高いことを知って想像も出来なくなるほどはうげきてきました。しかも、それが太陽のようにとおおくでなく、近かったため、本当に大変なたと思います。原爆は広島というイメージの方が強いですが、長崎にも落とされてしまったことも忘れてはいけません。原爆のおそろしさ、すごさを改めて大きくすることができよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

最初は「原爆」というと、「怖い」「悲さん」「かわいそう」という思いばかり。でも伝えられることはあずかなはずのお話でさえ、もっと上をいく不思議な感情が心の中を満たしました。昭和20年の8月8日午前8時15分。そのしゅん間に、たった一発の「少年」で、とれだけ多くの人が苦しみ、亡くなっていったのが私にはほんの少ししか想像できません。助けようとしても皮膚のこすれる痛みやそのものがむけてしまう。肉が出てしまっている人。本当に生々しいことだったのだなと思います。その一方で、助けられた女性の話には胸が温かくなりました。こんなおそろしいことが起こって自分は生き残った。男の子はそんな極限の状態でお姉ちゃんのことまで心配できて、すごいと思います。そして応じた義三さんたちのおかげでお姉ちゃんは苦痛にたえて難を乗り起えていました。こんな命をいつ落とすかわからない、自分のことを第一に考えなければいけない戦争ですが、たがりにそより人との結びつきが強かったのではないのでしょうか。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

子どもたちと共に原爆先生のお話を聴かせて頂きました。改めて原爆の怖さ、悲惨さを感じております。私たちは親が子どもの頃は、まだ戦争の話や原爆の話を学校で先生から聞く機会がありましたが、年月が経ち、今はなかなか学ばれる環境ではありません。そんな中で、子どもと共に話を聴く、という機会を与えて頂き、結果、家でも子どもと話すきっかけになりました。私自身は、広島原爆については、小学生の頃、学校の先生が学級文庫として用意してくれた『しほのゲン』という漫画で知りまして、とても恐くて、絵をきらんと見ていたことがよく覚えています。原爆先生の授業で、衣服をほとんど身に付けていない被爆者が手を前にだらんと垂らしながら歩いている、という話のところで、『しほのゲン』の描写が、思い出されました。人は何故こんな恐ろしいものを作り出してしまったのかと思わずにはいられません。そして、戦争という状況であったとはいえ、そのような兵器を人に対して用いてしまったこと、こんなことは本当にもう二度と起こしてはならないことです。原爆の話は、聞かされても、とても怖いので、思わず耳を塞ぎてしまいます。けれど、これが現実には起こり得る出来事だ、ということを知ってほしい、同じ過ちを決して起こさないようにしてほしい、と強く感じました。池田義三さんが若くして1人馬殺された出来事は、思い出すことも恐ろしく、そして辛いことだと思っています。けれど「伝えなければならぬ」という覚悟を持って息子さんである池田先生に伝え、池田先生は私たちに伝えて下さいました。私たちは聴かせて頂いたお話を、まずは家族、そして周りへと伝え、風化させない努力をしていかなければならないと思っております。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

戦後70年以上が経過し、実際に悲惨な経^{された方で}験を語り継ぐことのできる方が減り、年々その出来事が風化し、現代の子ども達にとって戦争が単なる「歴史の一单元」のような重みのないものになりつつあることに危機感を感じつつも、私自身も戦争について子どもに語り教えることが出来ないで、今回の講座で親子で学びを共有することができ、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

原子爆弾が外周7000℃にもなる非常な高温であることを教えて頂き、亡くなった方が黒いけになること、身体の水が一瞬で蒸発してしまうことなど、今まで見聞きしてきた原爆の悲惨さを表す言葉と結びつき、理解が深まりました。そして広島市の被爆率は70%、死亡率はなんと40%にもなる甚大な被害を与えたこの惨事は、アメリカにとって当時熱心に研究していた原爆の交効果を確かめるための「実験」だったという事、又帰りの飛行機で広島の方にカメラを向けて記録していたというその余裕に、やりきれない気持ちでいっぱいになりました。劣勢に転じてもおお戦い続けた当時の軍部の愚かさに怒り、あきれます。あと半年、3ヶ月、せめて2週間早く降伏していたらどれだけ多くの命が助かった



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

このたび、原爆についてのお話を伺い、めったにない機会をいただき、私共親子にとって大変勉強になりました。| 惨状を実際に目の当たりにしたのは初めて、そのご経験をお話することは、並大抵な苦痛を伴うものなのでお話を拝聴いたします。それこそ、後世のために、自らを奮い立たせて、ご自分の使命ととらえて果たそうとする勇氣と正義感に、心から尊敬の意を表げさせていただきます。

きちんと集中して聞く体制が整うまで語らない、緊急に空気に、私共聴衆にもお話を覚悟を求めておられるように感じました。それは、語り手の方や語り手の方に自らの思いを託すことに対する、当然の礼儀作法であると思います。せっかくのメッセージが日本国内の一部にだけ留まるのはもったいないので、世界各国の言葉に翻訳され、人々が厳粛に受けとめられるような形で発信されていくことを願います。

一昨年の春、当時小学校5年生だった娘を連れて大島を旅し、午前8時15分に鳴る、「平和の時計塔」の鐘の音を聞きました。多くの犠牲者の方々に思いをよせながら、この鐘の音が、平和のうちに鳴り響く日々が続いていくことを祈っております。

このたびは、ご講話をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/15

戦争や原爆の事は、今までに学び知っているつもりでございましたが、本日お話しを伺い、体験された方の心からの声は、私の知っている事はほんのひと握りにすぎない事なのだと思えて考えさせられる機会となりました。

池田義三さんの語られた言葉に、原爆が投下された直後の広島光景が目の前にある様に思えました。悶え苦しむ人々の姿、腐敗した遺体の火葬、悲愴な人の生死を目の当たりにした。兵隊としての任務は、17才の青年が体験するには言葉に言い表すこともできない程の耐え難いことだったと思います。その記憶と共に60年以上もの月日を生きてこられたのだと思うと胸が張り裂ける思いがいたしました。また、被爆されその後何十年も後遺症に苦められた多くの人々がいることを思うと原爆を投下した残虐な行為を受け入れることができません。

原爆の恐ろしさを知りながらも今もまだ核を保有している国々があります。唯一の被爆国である我々が今まだ伝えきれていない悲愴な事実を世界に対してもっと発信していかなければならぬと改めて思いました。

本日は貴重なお話しをありがとうございました。このような機会を与えて下さり心から感謝いたします。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

2020/2/15

本日は大変貴重な機会をお与えいただきまして、誠にありがとうございます。
原爆記念館の展示が『きれいすぎる』とお父様のご感想がとても衝撃的で胸に突き刺さりました。私自身、勿論、戦争の経験はありませんが、祖父が戦時中、化学専攻の学生として、都内の大学院の研究室に籠り、爆弾の研究をしていた話しを幼い頃によく聞かされておりましたので、池田先生のお父様も同様に、その当時の若者が戦争のために人生でとても苦感な青春期を犠牲にしてこられたことは大変痛ましい事であり、(自分の青春期とは比べるまでもなく)現在の日本人が戦争のことをあまり考えず、穏やかに暮らしておりますのは、その当時の日本人1人1人が凄くいい試練を各人で乗り越えられ、平和を手に入れてくださったお蔭であることを再認識させられました。
私自身、祖父のことを思い出せる良い機会となり、また娘と一緒に、戦争を実際に体験された池田先生のお父様のお話しを拝聴できましたことは、今後より一層Globalな社会で生きていく娘にとって、とても重要な知識であると感じ、親としても大変貴重な機会でございます。

また、90分間という長い時間、最初から最後まで緊張感を持ってお話しを聴いている子供達の後ろ姿にも成長を感じ、初等科での6年間の先生方のご指導に本当に感謝の気持ちがいっぱいになりました。この度は本当にありがとうございます。

以上。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

本日は特別授業を行って下さり、ありがとうございました。

先生の、気迫のこもった語りには倒され、耳をこらしてながら自分が理解していたつもりでいた戦争、そして原爆の悲惨さは、それを体験して方ではないと想像すらできないような、まさに地獄そのものであったと感じました。

私は子供の頃に広島と長崎の原爆資料館を訪れたことがあり、その展示は目を背けてくたさるようなものもありました。

しかし、それを見て「きれいすぎる」と仰ったお父様のお言葉...。せうだった方はもちろん、助かった方々にもどれほどの絶望と恐怖を与えたものだったのか言えり知れせん。

最前線が原爆の被害を目の当たりにされたお父様にとって、原爆のことを語るのにはお辛いことだったかと思っております。

しかし、後世に伝えるべく、ご自分の言葉を残して下さり、そしてそのお父様の思いを広く伝えるべく活動されている

池田先生には敬服いたしますと共に、子供たちにはこのような貴重な機会を下さったことに心より感謝いたします。

本日は本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

六年生の皆様と一緒に話を聞かせて頂き、私自身が小学校の時、はだしのゲンを本で読んで、怖くてしばらく頭から離れなかった事を思い出しました。池田様のお話は、お父様の目線で語られ、言葉にならない様子をどうにか伝えようとして下さる。お父様の思いがとても重く伝わりました。9日間は現代の日本からは想像も出来ない日々です。今日の幸せがあるのも、原爆や戦争がどれ程悲惨で二度と起こしては行けない事であると訴えてくれる方がいるからだと思えます。これから更に経験される方が少なくなる中で、次の子供達も原爆の無残さを伝えていくためには、体験された方の言葉を映像として残すことが出来る事がとても貴重に感じました。お父様が助けられた女性の方との再会や、胸をつまらせて原爆の様子を話されている姿は、忘れることが出来ないものとなっております。娘の心の中にも言葉にならないずしりとした思いが残されたのではないかと思います。貴重なお話しを子供と共に聞かせて頂き有り難うございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

自分が子供の頃とは違い、現代では大変科学的に原子爆弾そのものについての説明をされる事に感じました。

スカイリールーほどの高さに太陽が来たようにとは、非常にその威力を具体的に理解する事が出来ました。我々が子供の頃に見せられた数々の恐い写真が今でも忘れられず、それらが現実であった事で悲しみも増したものでした。もうデジタルに訴える事があっても良いのではとも思っています。何でもぐに画像の中心に入る時代の子供達に、言葉や文字が頭の中でどの程度具体化されているのか疑問に思っています。とは言え、娘は、授業の中で伝えられた、その恐い事実を受けとめるだけで精一杯だったようです。

我々の世代は、祖父母から戦中の話を聞くことが出来たから自分の子供にはそういう人達が、いかに事を不安に感じています。池田先生の行う方からいって下さる事に感謝しております。

ありがとうございます。今後多くの方にお話をされる機会を多く持たれる事を期待しております。最後にお聞きしてみたい事を書きます。お父様は原爆症の認定はされていたのでしょうか。先生は、17、どんたタミングで語り継ぐこととされたのでしょうか。お父様は戦争そのものに対してどのようお思い、考えをお持ちだったのでしょうか。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

お話しありがとうございます。

ビデオに取っていたのは最後の義三エんのビデオの中の「みじめ」というしぼり出した一コマでした。

そしてその体験をしたのが17歳の少年だったということ。本や展示にいたるところで云々くせない実体験は私の想像を超えたつらさだと思います。

私がその体験したつらさは時が経るとそれほどあったと思えるものばかりです。80歳を超えても声を聞き取らせて語る17歳の実体験の重さそしてその重さは必要だったかを考えさせられました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

この度は貴重なお話をありがとうございました。

正直、年に一回 8月6日の平和記念式典の時にしか考えることがありませんでした。

私が簡単に酷く、悲惨な事だと考え話しても、言葉に重みはありません。

今回、原爆先生のお話しを聞き、少しは言葉に重みがあるのでと思います。

最後に体験・経験者のお父様のお話しを聞いた時には、お父様のお顔を

私に見ることができませんでした。お話しをしている顔を見ていると、それだけの

体験、思いを込めたかか、ほんのわずかではあると思いますが、伝わってきた

想像をレベルが苦しくなりました。体験、経験した方々にしか到底わかりえない

事はありませんが、私も娘たちもこの先の平和について考えていく良い機会と

なりました。

ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私の両親は、戦争を経験しており、その時の事をよく父や母から聞いていました。

両親はその当時まだ6才、8才でしたので、空襲の時に防空頭巾をかぶり、防空壕へ隠れた事や、

戦後の話しが多く、物が無い事、食べ物に困った事、学校に米軍の人がたくさん来て怖かった事など

で、その当時の人々の生活が大変だったのだという事はわかりました。学校の授業等でも戦争の事、原爆

の事は学びましたが、今回の特別授業のような、原爆についての詳しい内容、実際に広島で原爆を

経験された方のリアルなお話しは聞いた事がなかったので、受講できてよかったと思えました。

原爆先生のお父様は17才という若さで、このような辛い経験をされ、その気持ちを考えると想像を

絶します。印象に残ったのは、お父様が後に広島市の原爆資料館を訪れた時に人形を見て、

きれいすぎると言ったという事で、私達は資料を見た話聞いて想像する事しか出来ないのです。

実際の状態は、いったいどれほどひどい状態だったのだろうと、考えると恐ろしい気持ちになります。

今、私達の生活は豊かです。目の前の事に追われて、つい、この豊かな生活が当たり前のように感じてしま

いますが、過去に戦争という辛い経験をした時代があったから、今の豊かな生活があるのだという事を

忘れてはいけないと思います。日本は唯一、原子爆弾(核兵器)を投下された国であるので、

広島や長崎が受けた原爆の恐ろしさ、辛い経験を、後世に伝えていく事は、平和である為

とても大事な事だと思います。このような恐ろしい事が世界中で二度と起きてはならないという

意識をそれぞれ個人が持つ事が重要であると思います。これから、多くの人に戦争、

原爆の恐ろしさを伝えてほしいと思います。特別授業をしていただきまして、ありがとう

ございました。



名前は裏面記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して



今おに、テレビなどで被火暴体験をされた方々のお話や。

実際に訪れた事があります長崎の原火暴資料館などで原火暴について知り、二度と、この様な事が起こってはならないと思いました。資料館を出た時胸が詰まり、ドキドキして、とても息苦しく目眩がした事を、二年過ぎましても覚えております。

今回の原火暴先生の授業にて、主人公の池田義三さんの、広島の大原火暴心地での行動をお伺いし、原火暴投下直後の様子、数日間の様子を「恐ろしい」ですが「悲しい」「つらい」などという言葉では言い表せない程の状況であったということがわかりました。私は、授業の最後まで体が強張っていました。

原火暴投下は、人間かした事です。破壊兵器の威力を世界中に見せつけ、その威力がどの程度のものなのかを実験する為により多くの人命が犠牲になりました。人間はとてつもなく恐ろしい生物だと思いました。

一方、その投下された火暴心地などでは、負傷者の懸命の救助、御遺体の片付け、励ましあい、人間を助けるのは人間であった事から、人間とは愛のある優しい生物であると思いました。

現在も、当時の後遺症で苦しんでいらっしゃる方々も多くいらっしゃる事、少しでも症状が軽くなりませう様に、出張授業、どうも有難うございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

娘とは、戦争に関する資料館を訪れたり、本やテレビ番組などを通じ、戦争を知る機会を持つようになってまいりました。

今日の先生のお話は臨場感にあふれ、戦争というものの理解を更に深めることができました。また、最後のお話ししてくださるお父様の姿に、その言葉の重みに、子供達も様々なことを感じたのではないかと思います。

私は、お父様が原爆資料館で被爆者を再現した人形を見て、こんなにはきれいじゃないとおっしゃったことが心に残りました。現実には、資料や本から私達が想像する状況をはるかに超えるものだったのだと思います。けれども、私達は戦争や原爆について子供達とともに深く学び、伝えていかなくてはなりません。

子供達も今日の学びが、今後深く学び考えるきっかけになっていくと思います。

本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今までに戦争についての話や原爆についての話を
うかがうことはありましたし、原爆資料館も訪れた
ことはありましたか。原爆先生の特別授業を受講
し終えた^{時の}感情は、今までにないものでした。3000℃、
7000℃と想像をすると恐ろしいという言葉しか浮か
びません。川が高熱で蒸発してしまうという光景を
私達は見ることがありませんし、一瞬で人間の命を
奪う原子爆弾をこの先あつと使用することのないように
と祈るばかりです。

90分の授業があつという間に感じました。先生
お話してくださつた池田先生の伝えたいという心が
私達にも伝わりました。親子でよしぞうロードを
歩いてみたいです。歩いたからとつて、被爆された方々
せくなられた方々、ご家族の気持ちかわかる、理解できる
訳ではないのであつ、少しでもその気持ちに近づき
たいと考えました。

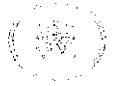
これからも子供達に原爆先生の特別授業を
行つて、原子爆弾の恐ろしさを伝えていただきたいです。
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



/

原爆資料館の展示について、池田さんは事実と比べきれいすぎると指摘されました。

25年程前、当時大学生を送っていた私は、唯一の被爆国の国民として知らなくてはならないという思いで、資料館を友人ふたりで訪れました。

歴史の教科書以上の事は何も知らない私たちは、資料館を出た後、あまりの凄惨さに言葉がしぼらく出なくて、重苦しかったことを思い出した。

しかし現実には、池田さんのきれいすぎるという言葉から、私が思っていた以上の絶対的にあってはならない人としての尊敬は一切存在しない惨事であったことを知りました。

今回の特別授業で、初めて考えさせられた事は、池田さんのような被爆直後から爆心地にいらした方々のことです。

戦時中とはいえ、17歳の瑞々しい精神は、何十年過ぎても全く癒やされることなく悲鳴を上げて苦悩されているお姿が痛ましく、それでも私たちにつらい過去の出来事を勇気を持ってお話していただきました。

二度と繰り返してはならないという思いを改めて受け取め、池田さんに感謝と敬意を表します。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は大変貴重なお話をありがとうございました。今まで教科書や小説等で被爆者側の話は行房が読んでいましたが、奇跡的にゆかり、消火作業等に従事された兵士の視点での話は初めてでしたので、大変勉強になりました。また、昨年、娘と広島を訪れ、爆心地の島病院にも行きましたので、原子爆弾の威力についての説明を伺い、高さ、速度、温度等、理解を深めることができました。

原爆投下後の広島は想像を絶するまでに地獄だったと思います。義三様は17歳という若さで、逃げ出すこともなく、毎日任務を遂行されたことには、心から敬服いたしました。

なぜ原爆を使用しなければならなかったのか、なぜ広島市民の命が一瞬で奪われなければならなかったのか、なぜ戦争をしなければならなかったのか。時間を戻すことは叶いません。

私達や次代を担う子ども達も二度と過ちを繰り返すことのないよう、他者を尊重し、共感することと忘れず、行動していきたいと思っております。

戦争のない世界、恒久平和を願って止めます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

大変貴重なお話をどうもありがとうございました。小学6年生という
 事もあり、今まで学んできた内容がいかだけ、原爆についての理解を
 (候補には、たが市(地理)、落下速度、原子爆弾の威力(理科))^{など}良く
 していました。具体的な説明をいたした「けたので」、原爆の恐ろしさを
 感じていました。落下直前まで皆いつも通り幸せに生きていたのに
 苦しみ、助けを乞う人も助けられないという苦しみと味わったり、戦争は本当に
 ありはらなしいと強く思いました。お父様も十代というまだ「若い時の
 出来事を鮮明に覚えていらしゃる、」。最後にお話されている時に「お上り」
 声と詰まらせている姿が70年以上たつた今でも忘れられない、酷い出来事
 あり、たというところが非常に伝わり、戦争体験者ではない私達も、これを
 伝えていかなくてはならないと思っていました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

本日は大変貴重なお話と聞かせて頂きまして誠にありがとうございました。

きれいな字です。

現実と記録に、余りにも大きな差があったから...
義三さんが、原爆資料館を訪れた時のこちらの言葉に大きな衝撃を受けました。

平和な時代に生まれ育った私達にとって戦争や原爆の話は、^{どんたけか}恐ろしく悲しいものであったかと想像していましたが、その想像を遙かに越えるものであったと知りました。

今年の終戦記念日は、今更とは違う思いを持って、犠牲者の方々の冥福をお祈りしたいと思っております。



名前は裏面に記入して頂きたい

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して



今回、原爆先生の授業を受講する機会をいただき、

感謝申し上げます。

最も心を打ったのは、最後の池田義三さんの映像です。

“本当に辛い体験をした方は言葉で語り尽くせないのだ”
ということが、映像中の沈黙の数秒から痛い程に
伝われてきました。

原爆資料館の人形も、惨事の記録や遺品の数々も
体と意識に刻み込まれた体験を持つ方々には、これは

「きれいすぎる、物々しいのだと思います。目で見える
それらよりも、目に見えない慰霊碑の中の名簿に
名を連ねる方々と時を共にした思いに涙した
という池田義三さんのことばにも、私の中に
込み上げてくるものがありません。

物より思いの方が人の心に残ります。

その思いを伝えて下さる活動を続けて下さっている
原爆先生の活動に改めて、感謝と御礼を申し上げ
たいと思います。 どうもありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

今まで生きてきた、49年、幾度となく戦争の言や、映像に慣れて参りたが、今回の原爆先生の特別授業は、衝撃的で且つ、月岡が苦しい事は無かったように思える。

池田義三さんが自身が映像の中で当時を思い出されてむせび泣いておられるお姿を拝見した時、人間同士が殺し合う戦争がどれ程酷く、体験して来た人々を生涯苦しめ続けるかと本気で懼かたおろわかったように感じた。17年の戦争を体験し、60年以上その苦しみを抱えて生き続ける身は、どれ程の地獄であったであろうと思われる。目の前でもがき苦しむばかり自分と同じ人間が互いに殺し、そしてその人達には何の悔いも無い状況が池田さんをこの世を後にするその瞬間まで自責の念が縛りつけていたであろうことは容易に想像出来た。正直、あの「戦争」「人間」「死」や「罪」は、現世に生きている私達が簡単に言う事は出来ません。その時々で正義も正解も変わると思わなくては。しかし、戦争は、池田さんのように人の人生を簡単に奪い、命を奪い、心も体も傷つけ誰ひとりとして幸せにはしないという事はわかっている。人間の愚かさが戦争を始める事もおかしい。物質的には満たされずして感覚が麻痺している私達現代人が本気で向き合わなければいけない事は、未だ永く池田さんのように苦しめ続けながら生きる人々を助ける事。そして私達の「今」は池田さん

のふりには、単に争ひを争ひたがひに、教へた功れは、方々の命の二に成り立って
いる事を天賦という事だと思ひました。そこでこの争ひが自分達の
為にあつたように、そして当たり前であるように、平然と無
知なまゝ生き延びては行かぬと強く思ひました。

池田さんが何十年も提言された、争ひや自責の念に比べれば
永遠の平和は、いかにいかに、どれ程薄くて早急なものであるか。これにしろ
それは「争ひ」の部類に分類されるものではないとも知られていゝと思
ひました。

原爆先生から教へて頂いた争ひを、しっかりと、私自身、そして親と
して、娘とも、今更な触れたい争ひ、争ひについて考へてみたいと思ひます。
決して答へは出ない争ひです。自分成りの、娘成りの、思ひを言葉に
したり、形にしてみたいと思ひます。そして、自分達の「生き方」や「考へ方」
を見つめ直し、向き合つてみたいと思ひます。
この様な機会を与えてください。本当に、どうもありがとうございました。

高橋小波子